

会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	安政推第1412号
		決裁期日	令和6年7月5日
名 称	令和6年度第1回安平町町民自治推進委員会		
日 時	令和6年7月2日 午前・ 午後 3時00分～4時10分		
場 所	安平町役場総合庁舎 2階大会議室		
出席者 (長職位を除き敬称略)	委員長・委員長、他委員8名 (政策推進課) 参事以下計4名		
会議概要	<p>1. 開会 委員12名中、10名の出席があり、条例第5条の会議開催条件を満たすことを確認。</p> <p>2. 委員長挨拶 ・前は3月に開催し、子ども達を住民としてどのように捉えるのかという、極めて画期的で先進的な議論が展開できたのではないかと認識 ・わたしどもの任期が来月13日まで。 ・現在並行して次期委員の募集がなされているということで広報でも周知があった。 ・この2年間の活動の集大成ということで「提言書」をとりまとめていきたい。</p> <p>3. 議事 <u>(1)「子どもにやさしいまち」の理念に基づくまちづくり基本条例の見直し・検討について【資料P2～6】</u> 【説明要旨】 ・P2-3は、前回とほぼ同じ →安平町でCFCIに取り組むが、子ども達だけに着目するものではない。 ・P4は、CFCIのチェックリストのR5評価結果 ・P5上段は、前回と同じ →まちづくり基本条例における文言や、そもそものこの条例の立ち位置を確認したもの ・P5下段は、前回会議でも話題とした「(仮称)子どもの教育環境条例」のロードマップをお示しするもの ・P6は、以上P5までの情報を踏まえた中で、今回提言書をまとめていくうえで非常に重要なものの一つである前回議論の論点整理 →まちづくり基本条例をどのようにこのCFCIの理念となじませていくか? →某委員のご意見について、先日早来学園(4-5年生)にて実践があった ↳ スライドにて授業風景を共有+当該委員より当時の状況などについて共有 →あびたまなっちは、こういったCFCIを基礎とした授業の9年生版で、昨年度の9年生の一つの班が授業で製作したもの</p> <p>【調査・審議のポイント】 ・P6論点整理のとおり</p> <p>【質疑応答】</p> <p><委員> ・子どもの権利に関する条例について、川崎市が有名だと思うが、こうしたプロセスに安平町でも参加させて欲しい。 ・1回、2回だけ形式的に参加させるだけでない方法で進めて欲しい。</p> <p><事務局> ・そのような認識を当庁でも持っているので、積極的に参加させたい。</p>		

・本年8月に教育フォーラムが開催されることを皮切りに、子どもの参画を考えていきたい。

(2) 成年年齢の引下げに伴う町民参画関連条例の見直し・検討について【資料P7-8】

【説明要旨】

- ・ P7は、前回と同じ内容
 - P6が「まちづくり基本条例」をどうするか？という論点で、こちらはもう一つの論点である「町民参画関係の各種条例等」で規定される年齢制限について
- ・ P8は、これに関わる前回会議での論点整理
 - 子どもの意見はひつようであるが、この年齢をどこまで引き下げていくか？
 - 前回会議で委員よりご質問いただいている「実効」と「実行」について説明
 - └ 当日スライドにて

【調査・審議のポイント】

- ・ P8 論点整理のとおり

【質疑応答】

- ・ 特になし

(3) 第4期町民自治推進委員会 提言書（案）について【資料P9-10】

- ・ 要点を説明したうえで、「具体的提言事項」についてのみ読み上げて確認

【質疑応答】

- ・ 特になし =案のとおりで決定

(4) 次期（第5期）町民自治推進委員の委嘱について【資料P11-12】

- ・ 皆様の任期は、来月13日まで
- ・ 次期委員のみなさまを、現在P12のとおり募集中
 - 先日町民300名を無作為抽出し、郵送済み
 - 各地区連合自治会に対しても、各地区より1名のご推薦をいただきたい。

(5) 町民参画推進条例に基づく町民参画手続の実施状況について及び町ホームページでの会議録の公表状況について【資料P13-15】

- ・ 資料に基づき説明

(6) その他

- ・ 提言書を町長へ直接手交することに。
- ・ その様子などを町広報へ掲載する。※プレスリリースも検討
- ・ 最後に委員全員で記念撮影

【全体総括/感想】

<委員1>

- ・ この会議は、年齢的に若くてすごい活発だった。
- ・ 無作為抽出であったとしても、これだけ高齢の方が少ないというのは画期的だと感じていた。
- ・ 高齢の方が多自治体が多いため、シルバー民主主義的にお年寄り側の意見が進むのが現代日本では一般的
- ・ しかしながら安平町はCFCIを掲げ、子どもとその親世代が元気になることが巡り巡ってお年寄りも元気になる、変わっていく。
- ・ 「何かできることはないのか？」と思わせてくれる。
- ・ 小さい町だからこそできることがあり、やってきたと思っている。
- ・ この会議から、様々ことが実現した。

<委員2>

- ・ 参加させえていただく中で、心身ともに健康になるような取り組みがなさせている安平町がとても素晴らしいと思えた。
- ・ 私も会社をやっているの、働きたいと思える企業になりたいと、モチベーション

をいただくことができました。

以上